



すずらん



日帰り学習にて蒜山高原センター・ジョイフルパークに行ってきました。

『秋の一日』

施設長 山田浩久

一朝毎に気温も下がり、学園周辺の落葉樹は紅葉から葉も散りはじめ、冬の到来を感じられる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

一昨年来からのコロナ禍は、第7波では、子供たちを含む若年層での感染が広がり、家庭内感染も多く発生しました。今までにない患者数を記録しましたが、現在ではワクチン接種や、感染予防対策の取り組みで感染者数は減少し、諸所の行動規制は緩和され、以前のような社会活動に戻りつつあります。

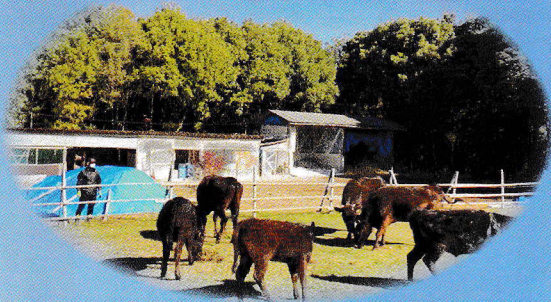
施設利用者の皆さんは、10月6日、7日に分かれて園外学習で蒜山高原に出かけました。コロナ禍で、長期にわたり園外での活動や外出が制限されていたため、利用者の皆さんはとても楽しみにしていました。蒜山高原センターでは、乗り物やアトラクションを楽しみ、家族へのお土産をたくさん購入しました。

また、10月29日には『収穫祭と作品展』が開催されました。今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策で、園生と家族の方限定の行事となりました。当日は、天候にも恵まれ高等部園生の力強い和太鼓の演奏で開会し、各活動班の野菜・卵・シイタケなどの生産物の販売テントや小学部園生の制作した栞のプレゼントコーナーには多くの家族をお迎えすることができました。今年度は、販売時間の制約もなく、来園された家族の皆様は、両手いっぱい買い物をしていただき、ありがとうございました。

年末に向け、新型コロナウイルス感染症第8波に向けた感染者数の増加、さらに、今年はインフルエンザの流行も危惧されており、感染症予防につきましては、徐々に緩和されてきてはいますが、学園では園生一人一人の安全な生活の確保を第一に予防対策を進めていきたいと思っています。保護者及び関係機関の皆様には引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

森の仲間たち：畜産・果樹班

自立訓練（生活訓



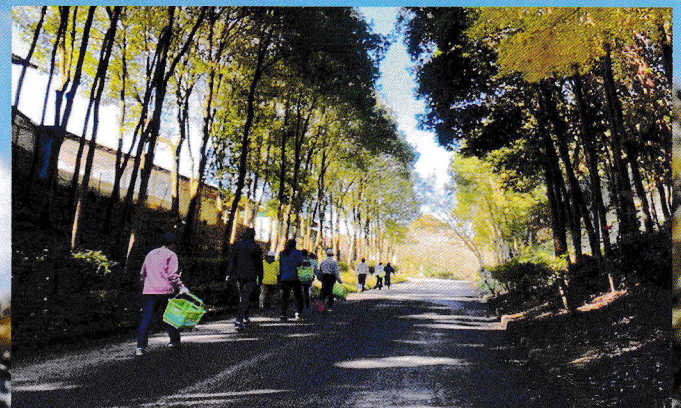
自立訓練（生活訓練）事業：自立訓練プログラムに従い、掃除や洗濯、組んでいます。公共交通機関の利用や買い物などの社会参加能力、そ
や責任感の向上を促します。 ◎定員：12名 ◎期間：2年

就労継続支援B型事業：養鶏、採卵、委託作業等の日中作業訓練を行
を通して、就労意欲や責任感を育成し、あいさつや返事、報告などの

～1日の作業風景の流れ～



1日の作業予定を確認します。



今日も頑張っていこう！



声を掛け合って順番に。



気持ちのいい牛舎へ様変わり！



毎日の収穫が楽しみです！



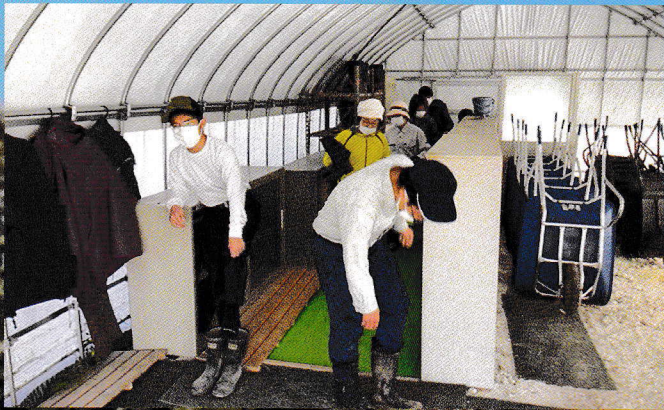
協力し合って餌づくりです。



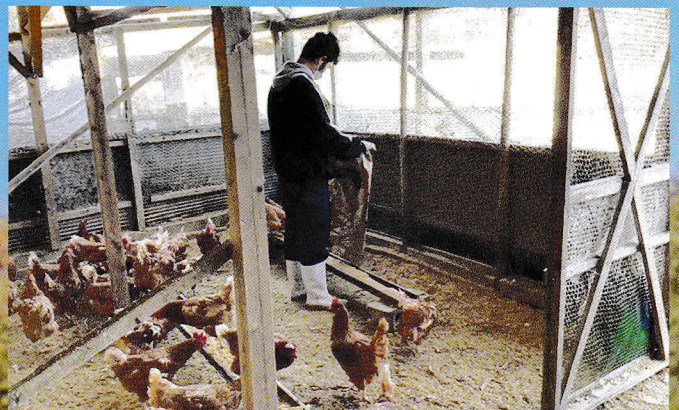
練) / 就労継続支援 B 型事業

自室の片付け、調理実習などの生活に即した生活訓練の他、サークル活動などの余暇支援による社会スキルの向上に取り
してコミュニケーション能力の習得に関するプログラムも実施しています。また、和牛飼育・果樹栽培を通して就労意欲
または3年間

っています。作業で作られた生産物は地域の道の駅等で販売され、利用者の皆さんに工賃として支給されています。作業
仕事に対するところ構えを身につけていけるよう指導します。 ◎定員：13名



整理整頓もばっちりです！



まずは鶏舎の掃除と餌やりから！



生活支援員・班長



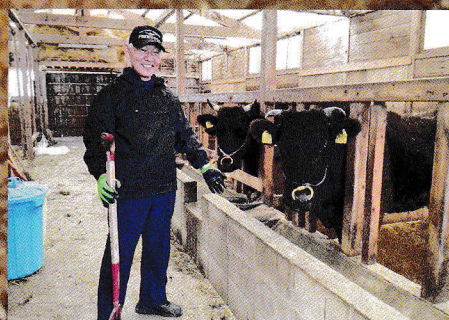
生活支援員・鶏担当



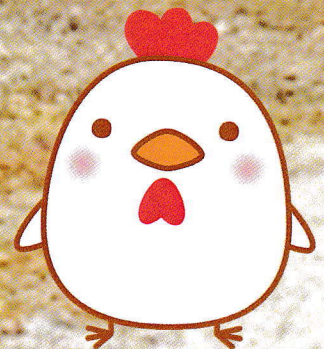
生活支援員・砂充填担当



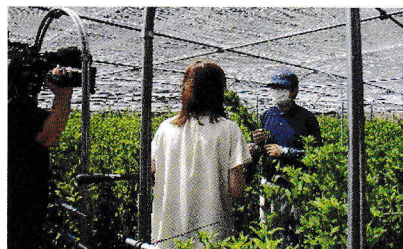
生活支援員・果樹担当



生活支援員・営繕担当



笑味ちゃん
天気予報の取材 7/15



山陽放送にてJAGグループが提供する『笑味ちゃん天気予報』の取材を受けました。今回は就労移行支援事業で栽培をしている新見の特産品「リンドウ」を取材に来られ、利用者の皆さんは緊張した様子で取材を受けていました。大切に育てた健康の森学園の「リンドウ」をこうして取り上げていただき、利用者の皆さんも今後の励みになり、より一層努力をして、良い物を作り地域の皆様にご提供できることと思います。



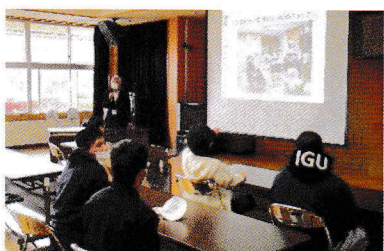
株式会社清水屋食品様が法人施設を訪問され、生クリームパン160個を寄贈いただきました。清水屋食品様はこれまで県内の障害福祉施設に同様の活動をされており、今回は猛暑の中、県北までお越しいただき、利用者の代表に直接手渡していただきました。社員の方から「美味しく食べてくださいね」と声をかけていただき、利用者の皆さんは訓練舎での休憩時間に美味しくいただきました。



運動会は新型コロナウイルスの感染で中止となりましたが、つどいの広場にて運動会予行演習を行いました。本番の流れに沿って皆さん元気に取り組まれました。開会式では国旗・学園旗掲揚、演技中は進行役のアナウンス、そして閉会式では園生代表の言葉を利用者の皆さんが担当しました。今回参加の演技種目は『綱引き』で、計4回の熱戦が行われました。皆さん、3年ぶりの運動会に向けて本番さながらに力を出し切り心地よい汗が光っていました。演習中は、支援学校生徒の演技種目にも手を叩いて一生懸命応援しました。



今年度は6組計10人の方の参加をいただきました。最初に山田施設長より歓迎の挨拶があり、法人の活動の様子の子の動画を観ながら小川総括管理者が説明を行いました。参加者の皆さんは作業服に着替えて各作業班の見学をして、農産班の畑にてサツマイモ掘りの体験をしました。準備された圃場に移動して、スコップを使って掘り、次々と土の中から大きなサツマイモが現れると傷をつけないように手で丁寧に掘り上げていました。たくさんサツマイモを収穫して、参加された皆さんはとても喜んでいました。



新見市障害者地域活動支援センター「ほほえみ広場にいみ」より赤木義英センター次長をお招きして、利用者勉強会を開催しました。赤木次長からは「ほほえみ広場にいみ」についてと題してスタッフや活動内容・地域でのイベント等を画像やエピソードを交えて紹介いただきました。コロナ禍による利用者制限があるため、利用したことがある利用者の方は、画像を懐かしく見えていました。後半はミニゲーム「新聞カーリング」にも挑戦して短時間で楽しく地域でのサポートについて学ぶことができました。



「第32回健康の森学園収穫祭と作品展」が開催されました。当日は快晴で絶好の収穫祭日和となり、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、たくさん保護者の方に来園いただきました。野菜や花苗・椎茸・卵などたくさん農産品が並んでいましたが、あっという間に完売となりました。来年は一般の皆様にも来園いただき楽しい交流ができればよいと思っています。

パンの寄贈 7/29

運動会予行演習 9/14

チャレンジ体験 10/1

学習の会 10/25

収穫祭と作品展 10/29

～編集後記～



今回編集後記を作成するにあたり、過去の広報紙を見返していますと色々知らなかったことを知ることができ、おもしろいなと思わず目的を忘れ読み込んでいました。こうやって後々にも読み返してもらえるような広報紙となるよう、今年度の「すずらん」は行事等に加え、普段の作業班の様子を特集し、いつもと少し違う内容をお届けしようと編集委員一同頑張りました。今後とも「すずらん」をよろしく願い致します。